



さとおやのこと～すこしだけ知ってください～

「里親制度」は、実の親と離れて暮らしているこどもたちを、里親さんの家庭で、深い愛情と理解をもって育てていただく「こどものための制度」です。

大阪市には、さまざまな事情で実の親と離れて暮らしているこどもが約 1,100 人います。こどもたちの健やかな成長のためにはできるだけ家庭に近い環境が必要です。家庭で一緒に寝起きし、ごはんを食べ、大きな声で笑いあえる人がいることで、こどもは自分も周りの人も大切に思うことができます。



しかし、実の親と離れて暮らしているこどもの約 8 割が乳児院や児童養護施設で暮らし、里親家庭で暮らすこどもたちは約 2 割です。

乳児院や児童養護施設でも、近年はできるだけ家庭の雰囲気近づけるよう小舎制（1 舎 12 人以下）を採用しているところもあり、こどもたちも施設職員さんの深い愛情を受けながら日々を過ごしていますが、一人ひとりのこどもたちの思いに応えるにはまだまだ十分ではありません。

大阪市では、こどもたちが家庭的な環境で一人ひとりが尊重されて生活できるよう里親等委託を推進しています。この機会に、少しだけ「さとおや」のことを知ってください。



さとおやってなあに?? →

